

第3回仙台市自転車の安全な利活用推進計画策定委員会におけるご意見と本市の考え方

資料1

No.	最終案 掲載頁	ご意見（要旨）	本市の考え	修正内容
1	32頁	それぞれの施策が有機的に影響していることを示すべき。 例えば、自転車走行空間整備がルール遵守に影響を与えることや、シェアサイクルが自転車の利便性向上、放置自転車の減少に寄与すること、自転車通勤の促進の時に教育をすることで幅広い属性に教育機会を提供できることなど。	第4章2 施策の体系の項目に、基本方針に沿った各施策については、相互に関連しながら取組みを進めることで、基本目標の実現を目指す旨の記載を追記いたします。	第4章 基本目標・方針と推進施策 2 施策の体系  【修正前】 前節にて示した基本方針に基づき、対応する施策を次のとおり整理します。  【修正後】 前節にて示した基本方針に基づき、対応する施策を次のとおり整理します。 <u>なお、施策の実施にあたっては、各施策を相互に関連させながら取組みを進めることで、基本目標の実現を目指します。</u>
2	35頁	子供が主体となる取組みは非常に重要。施策2「交通ルール・マナーの実践的な教育」という表現だけでは弱く、例えば「安全な社会づくりのための貢献」のような、自分の命以外の、他者や社会の安全性向上のために、自分達に何ができるかという教育を推奨する要素を盛り込んでどうか。	ご意見を踏まえ、施策2を「地域の交通安全を考える実践的な教育」と改めます。	第4章 基本目標・方針と推進施策 3 推進施策 施策2  【修正前】 中学・高校や大学等における自転車の交通ルール・マナーの実践的な教育  【修正後】 <u>中学・高校等における地域の交通安全を考える実践的な教育の実施</u>

No.	最終案 掲載頁	ご意見（要旨）	本市の考え	修正内容
3	41頁	<p>自歩道の活用については、どのような配慮をするか明記した方が良い。          自歩道は“歩道を通行してもよい”という意味であり、歩道通行を推奨しているわけではないので、自転車走行空間（車道混在）の整備はしてもよいと考えられる。車道における整備を行わない場合でも、歩道通行時の徐行義務等を遵守させるような指導や表示等は必要である。</p>	<p>施策10の1）自転車ネットワーク路線整備の基本的な考え方に、自転車歩行者道の活用に関する説明文を追記いたします。</p>	<p>第4章 基本目標・方針と推進施策          3 推進施策          施策10 自転車ネットワーク路線の選定・整備          1) 自転車ネットワーク路線整備の基本的な考え方</p> <p>【修正前】          本市では、これまで都心部を主体に ～略～ 整備を推進します。          自転車ネットワーク路線は ～略～ 引き続き取り組みを進めます。</p> <p>【修正後】          本市では、これまで都心部を主体に ～略～ 整備を推進します。  <u>自転車歩行者道については、ルールを遵守した安全走行の周知を図りつつ、今後の本市における都心再構築などの各種関連事業の取り組み状況を見て、車道上での整備を検討・調整していくこととします。</u>          自転車ネットワーク路線は ～略～ 引き続き取り組みを進めます。</p>

No.	最終案掲載頁	ご意見（要旨）	本市の考え	修正内容
4	66～67頁	ルート検索等から最適な移動手段を提案し、その中に自転車やバスその他をどう盛り込むかということ、M a a Sの枠組みで検討するのは重要な視点。本計画にM a a S推進の要素をもっと盛り込んでよい。	施策18に、M a a S (=Mobility as a Service)によるDATE BIKEと市内の各種交通手段 (Mobility) やまちのアクティビティ (as a Service) とのつながりを構築していく旨を追記いたします。	<p>第4章 基本目標・方針と推進施策 3 推進施策 施策18 DATE BIKEの利便性向上</p> <p>【修正前】 (施策の考え方) 今後、ニーズを踏まえたポート配置や高密度化、利用手続きのシームレス化など、利便性の向上に取り組みます。</p> <p>(具体的な取り組み) ②M a a S (=Mobility as a Service)を活用したコミュニティサイクルの空き情報検索、他アプリと連動した利用手続きのシームレス化に向けた実証実験（観光型）の実施と導入に向けた検討</p>
5	66～67頁	今回の計画案は自転車目線で書かれすぎている。DATE BIKEのところにもあるが、まちづくりや他の交通手段との連携をはじめとした「自転車の立ち位置」を意識すべき。従前の利用形態だけでなく、“週1回でも自転車を使いやすい”とか“自分のレベルに合った使い方ができる”等のイメージを明示しても良い。		<p>【修正後】 (施策の考え方) 今後、ニーズを踏まえたポート配置や高密度化のほか、<u>M a a S (=Mobility as a Service)による市内の各種交通手段 (Mobility) やまちのアクティビティ (as a Service) とのつながりを構築し、利用の拡大を図ります。</u></p> <p>(具体的な取り組み) ②「<u>仙台M a a S (=Mobility as a Service)</u>」によるDATE BIKEと他の移動サービスをシームレスに乗り換えることができる仕組みの構築</p>

No.	最終案 掲載頁	ご意見（要旨）	本市の考え	修正内容
6	69~ 70頁	<p>ネットワークについては、沿岸部や秋保地域で自転車の活用がされているところだが、道が繋がらないという課題がある。仙台市内だけでなく、近隣市町村、県全体、隣県も含めた連携した整備ができれば来訪者の増加につながる。</p> <p>都心部からサイクリングルートへのアクセスについて計画中に記載がある通り、施策10と施策20・21は関連があると思っている。庁内担当部署と上手く連携し、重点整備と位置付け推進していただきたい。</p>	<p>本計画では、今後5年間で優先整備する地区として、自転車の利用状況や交通事故発生状況等の総合的観点に基づき、【都心エリア】、【泉中央エリア】、【長町エリア】の各拠点毎にネットワーク路線を選定の上、整備を進める方針としています。サイクルツーリズムについては、庁内関係部署のほか、国、県、周辺自治体等と連携し、施策20、21に基づき取り組んでまいります。</p>	

No.	最終案 掲載頁	ご意見（要旨）	本市の考え	修正内容
7	73頁	<p>保険やヘルメットについては前年比プラスマイナスだけでなく、数値を設定できないか。</p> <p>保険加入率8割、9割という高い目標を市が示した方が市民の加入率が上がるのではないかと。数値目標を掲げる際の根拠をどうするかなど、難しさもあると思うが、検討願う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「市民の自転車ルールに対する理解度」、「市民の自転車ルールに対する遵守率」、「自転車損害賠償保険等の加入率」、「ヘルメット着用率」において、具体的な数値を評価指標として設定いたします。</p>	<p>第5章 計画推進のための仕組み 1 評価指標 表 5.1 基本方針に対応する評価指標</p> <p>【修正前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の自転車ルールに対する理解度</li> <li>●市民の自転車ルールに対する遵守率</li> <li>●自転車損害賠償保険等の加入率</li> <li>●ヘルメット着用率</li> <li>●コミュニティサイクルの利用回数</li> </ul> <p style="text-align: right;">} 対前年度比「+」</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の自転車ルールに対する理解度 <u>令和7年度 90% (令和2年度実績81.7%)</u></li> <li>●市民の自転車ルールに対する遵守率 <u>令和7年度 70% (令和2年度実績56.1%)</u></li> <li>●自転車損害賠償保険等の加入率 <u>令和7年度 85% (令和2年度実績59.9%)</u></li> <li>●ヘルメット着用率 <u>令和7年度 30% (令和2年度実績13.3%)</u></li> <li>●コミュニティサイクルの利用回数 <u>令和7年度 100万回/年度</u> <u>(令和2年4月～12月実績49.8万回)</u></li> </ul>
8	73頁	<p>目標として、コミュニティサイクルが現状より増えるのはほぼ確実なので、実質目標になっていないように感じる。達しない場合にもその要因を分析できればいいので、上り幅を大きくするなどの数値目標を設定しても良いと思う。</p>	<p>コミュニティサイクル「DATE B I K E」に関して、これまでの利用状況などを勘案し、また、事業者とも調整を図り、目標年度における具体的な利用回数を評価指標として設定いたします。</p>	<p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の自転車ルールに対する理解度 <u>令和7年度 90% (令和2年度実績81.7%)</u></li> <li>●市民の自転車ルールに対する遵守率 <u>令和7年度 70% (令和2年度実績56.1%)</u></li> <li>●自転車損害賠償保険等の加入率 <u>令和7年度 85% (令和2年度実績59.9%)</u></li> <li>●ヘルメット着用率 <u>令和7年度 30% (令和2年度実績13.3%)</u></li> <li>●コミュニティサイクルの利用回数 <u>令和7年度 100万回/年度</u> <u>(令和2年4月～12月実績49.8万回)</u></li> </ul>